

事務事業マネジメントシート(兼 事務事業コスト計算書)

事務事業名: PCB廃棄物処理事業
政策名: 3 まちをつかう
施策名: 施策21 ごみの発生抑制と再資源化の推進
所属部: 行政管理部
所属課: 総務課
課長名: 平 康浩
事業期間: 単年度のみ

事務事業の概要(事業開始の経過、事業の具体的な手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)
ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物は、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」により適正保管・適正処理が義務づけられおり、その処理は、国の監督のもと、日本環境安全事業株式会社(JESCO)が全国5ヵ所にPCB廃棄物処理施設を設置し、保管事業者から委託を受けて処理業務を行うことが法的に決まっている。

1 現状把握の部(PLAN)(DO)
(1) 事務事業の目的と指標
手段(主な活動)
平成25年度の実績(平成25年度に行った主な活動)
処理計画なし。法律に基づく保管状況報告
平成26年度の事業計画(平成26年度に計画している主な活動)
未処理の液漏れコンデンサ1台はESCO処理作業再開時期が決定次第、実施予定。

(2) 各指標等の推移
Table with columns: 名称, 単位, 平成22年度(決算), 平成23年度(決算), 平成24年度(決算)(A), 平成25年度(決算見込み)(B), 平成26年度(当初予算), 目標年度(目標値), 差額(B)-(A)
Rows include: PCB廃棄物処分委託実施件数, 保管状況報告事務件数, 保管中のPCB含有コンデンサ, 保管中のPCB含有安定器, 適正処理されたPCB含有コンデンサ, 適正処理されたPCB含有安定器, 上位成果指標

(3) 事務事業コストの推移
Table with columns: 名称, 単位, 平成22年度(決算), 平成23年度(決算), 平成24年度(決算)(A), 平成25年度(決算見込み)(B), 平成26年度(当初予算), 目標年度(目標値), 差額(B)-(A)
Rows include: 正規職員従事人数, 正規職員人件費計(C), 再任用職員従事人数, 再任用職員人件費計(D), 嘱託職員従事人数, 嘱託職員人件費計(E), 人に係るコスト計(F), 物件費, うち委託料, 維持補修費, 物に係るコスト計(G), 扶助費, 補助費等, 繰出金, 移転支的コスト計(H), その他, 支出計(I)=(F)+(G)+(H), 国庫支出金, 都支出金, 分担金及び負担金, 使用料及び手数料, 繰入金, その他, 収入計(J), 収支差額(K)=(J)-(I), 一般財源投入割合

2 評価の部(CHECK) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価
公共関与の妥当性
成果の向上余地
廃止・休止の成果への影響
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?
類似事業との統廃合・連携の可能性
事業費の削減余地・歳入の確保
人件費(延べ業務時間)の削減
受益機会・費用負担の適正化
事務事業コスト、効率性評価、公平性評価から見たこの事務事業の課題は?

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(ACTION)
(1) 1次評価者としての評価結果
(2) 全体総括(振り返り、反省点)
液漏れPCBの処理方針が確定したことから、平成26年度には清化園衛生組合排出分のコンデンサを日本環境安全事業株式会社(JESCO)に処分を委託するよう調整した。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可
(4) 改革・改善による期待成果
Table with columns: 削減, 維持, 増加
Rows: 向上, 維持, 低下

(5) 改革,改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
(6) 上記(3)で現状維持をチェックした場合、この事務事業はどのような状態となれば見直し・廃止となりますか?

事務事業マネジメントシート(兼 事務事業コスト計算書)

事務事業名: 3 ごみ収集事業
政策名: 3 3まちをつかう
施策名: 21 施策21 ごみの発生抑制と再資源化の推進
所属部: 生活環境部
所属課: 生活環境部
課長名: 村山 幸浩
事業期間: 単年度のみ

事務事業の概要(事業開始の経過、事業の具体的な手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)
市内のごみ収集に関する委託業務、
【ごみ収集委託(臨時収集含む)、粗大ごみ収集委託・分室業務(美化推進含む)委託】

1 現状把握の部(PLAN)(DO)
(1) 事務事業の目的と指標
手段(主な活動)
平成25年度の実績(平成25年度に行った主な活動)
ごみ・粗大ごみ収集業務、清掃分室業務(美化推進)を実施。
平成26年度の事業計画(平成26年度に計画している主な活動)
ごみ・粗大ごみ収集業務、清掃分室業務(美化推進)を実施予定。
対象(誰、何を対象にしているのか)\*人や自然資源等
ごみの排出者。
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)
市内の美化を推進し、清潔に保つことができる。
結果(どんな結果に結び付けるのか)
EPRを柱としてごみの発生が抑制され、また、ごみが適正に処理され、環境負荷の少ない循環型社会が築かれる。

(2)各指標等の推移
Table with columns: 名称, 単位, 平成22年度(決算), 平成23年度(決算), 平成24年度(決算)(A), 平成25年度(決算見込み)(B), 平成26年度(当初予算), 目標年度(目標値), 差額(B)-(A)
Rows include: 活動指標(ごみの収集量, 収集稼働日数), 対象指標(人口), 成果指標(取り消し件数), 上位成果指標(ごみの総排出量, 総資源化量)

(3)事務事業コストの推移
Table with columns: 単位, 平成22年度(決算), 平成23年度(決算), 平成24年度(決算)(A), 平成25年度(決算見込み)(B), 平成26年度(当初予算), 目標年度(目標値), 差額(B)-(A)
Rows include: 人に係るコスト(正規職員従事人数, 延べ業務時間, 正規職員人件費計(C), 再任用職員従事人数, 再任用職員人件費計(D), 嘱託職員従事人数, 嘱託職員人件費計(E), 人に係るコスト計(F)), 物に係るコスト(物件費, うち委託料, 維持補修費, 物に係るコスト計(G)), 移転支的コスト(扶助費, 補助費等, 繰入金, 繰出金, 移転支的コスト計(H)), その他(その他), 支出計(I)=(F)+(G)+(H)

収入内訳
Table with columns: 千円, 平成22年度(決算), 平成23年度(決算), 平成24年度(決算)(A), 平成25年度(決算見込み)(B), 平成26年度(当初予算), 目標年度(目標値), 差額(B)-(A)
Rows include: 国庫支出金, 都支出金, 分担金及び負担金, 使用料及び手数料, 繰入金, その他, 収入計(J), 収支差額(K)=(J)-(I), 一般財源投入割合

2 評価の部(CHECK) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価
公共関与の妥当性
成果の向上余地
廃止・休止の成果への影響
有効性評価
類似事業との統廃合・連携の可能性
活動指標・対象指標・成果指標の推移、公共関与性評価、有効性評価から見たこの事務事業の課題は?

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(ACTION)
(1) 1次評価者としての評価結果
(2) 全体総括(振り返り、反省点)
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可
(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

Table with columns: 公共関与の妥当性, 有効性, 効率性, 公平性, 期待成果
期待成果 matrix:
向上	維持	低下
削減	維持	増加
〇	〇	×
×	×	×

事務事業マネジメントシート(兼 事務事業コスト計算書)

事務事業名: 4, 政策名: 3, 施策名: 21, 所属部: 生活環境部, 所属課: ゴミ減量課, 課長名: 村山 幸浩, 法令根拠: 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 他

事務事業の概要(事業開始の経過、事業の具体的な手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)
市民が快適で住み良い循環型社会を形成していくため、各事業に取り組むことで、ごみの発生抑制・再資源化・再利用(3R)の推進を図っていく。

1 現状把握の部(PLAN)(DO)
(1)事務事業の目的と指標
手段(主な活動)
平成25年度の実績(平成25年度に行った主な活動)
各団体の会議等の参加及び情報提供。 審議会を開催し施策・事業に反映させた。 回収したごみを各資源化及びリサイクル事業に活用した。 市民にごみの減量に関する情報提供及び助成事業を実施した。

(2)各指標等の推移
Table with columns: 名称, 単位, 平成22年度(決算), 平成23年度(決算), 平成24年度(決算)(A), 平成25年度(決算見込み)(B), 平成26年度(当初予算), 目標年度(目標値), 差額(B)-(A)
Rows include: 廃棄物の排出量, 人口, 排出量の減少量, 埋め立て量

(3)事務事業コストの推移
Table with columns: 単位, 平成22年度(決算), 平成23年度(決算), 平成24年度(決算)(A), 平成25年度(決算見込み)(B), 平成26年度(当初予算), 目標年度(目標値), 差額(B)-(A)
Rows include: 正規職員従事人数, 正規職員人件費計(C), 再任用職員従事人数, 再任用職員人件費計(D), 嘱託職員従事人数, 嘱託職員人件費計(E), 人に係るコスト計(F), 物件費, うち委託料, 維持補修費, 物に係るコスト計(G), 補助費, 補助費等, 繰出金, 移転支的なコスト計(H), その他, 支出計(I)=(F)+(G)+(H), 国庫支出金, 都支出金, 分担金及び負担金, 使用料及び手数料, 繰入金, その他, 収入計(J), 収支差額(K)=(J)-(I), 一般財源投入割合

2 評価の部(CHECK) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価
公共関与の妥当性
成果の向上余地
廃止・休止の成果への影響
有効性評価
類似事業との統廃合・連携の可能性
活動指標・対象指標・成果指標の推移、公共関与性評価、有効性評価から見たこの事務事業の課題は?

効率性評価
公平性評価
事務事業コスト、効率性評価、公平性評価から見たこの事務事業の課題は?
ごみの分別を徹底、新たな再資源化方法の確立により、ごみの排出量を減少させることで抑えることで焼却処分に係る経費が大きな負担となっているため、今後は更に排出量を減らす施策を講じる必要がある。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(ACTION)
(1)1次評価者としての評価結果
(2)全体総括(振り返り、反省点)
ごみの排出量の減量化及び分別の意義をこれまでよりもっと浸透させるため、新たな施策を講じる中で成果を高めることが必要と思われる。
また、清掃工場も竣工から年数が経過しているため、修繕経費等を縮小するためには、一層の安定的な減量化・資源化を図る必要がある。

(3)今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可
(4)改革・改善による期待成果
Table with columns: 削減, 維持, 増加
Rows: 向上, 維持, 低下

(5)改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
循環型社会の構築を目指すためには、市民・行政が一体となり取り組む必要があるため、現状報告及び新たな施策展開の情報を随時発信することで成果の向上を図る。
(6)上記(3)で現状維持をチェックした場合、この事務事業はどのような状態となれば見直し・廃止となりますか?

事務事業マネジメントシート(兼 事務事業コスト計算書)

事務事業名: 5 多摩川衛生組合共同運営事業
政策名: 3 3まちをつかう
施策名: 21 施策21 ごみの発生抑制と再資源化の推進
所属部: 生活環境部
所属課: ごみ減量課
課長名: 村山 幸浩
事業期間: 単年度のみ

事務事業の概要(事業開始の経過、事業の具体的な手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)
可燃ごみ等の衛生的な処理(焼却)を行うため、稲城市・狛江市・府中市とともに一部事務組合を構成し、清掃工場の共同運営を行う。

1 現状把握の部(PLAN)(DO)
(1)事務事業の目的と指標
手段(主な活動)
平成25年度の実績(平成25年度に行った主な活動)
可燃ごみ等の衛生的な処理(焼却)を行うため、稲城市・狛江市・府中市とともに清掃工場の共同運営を行う。

(2)各指標等の推移
Table with columns: 名称, 単位, 平成22年度(決算), 平成23年度(決算), 平成24年度(決算)(A), 平成25年度(決算見込み)(B), 平成26年度(当初予算), 目標年度(目標値), 差額(B)-(A)
Rows: 可燃ごみ排出量, 削減した量

(3)事務事業コストの推移
Table with columns: 名称, 単位, 平成22年度(決算), 平成23年度(決算), 平成24年度(決算)(A), 平成25年度(決算見込み)(B), 平成26年度(当初予算), 目標年度(目標値), 差額(B)-(A)
Rows: 正規職員従事人数, 正規職員人件費計(C), 再任用職員従事人数, 再任用職員人件費計(D), 嘱託職員従事人数, 嘱託職員人件費計(E), 人に係るコスト計(F), 物件費, うち委託料, 維持補修費, 物に係るコスト計(G), 扶助費, 補助費等, 繰出金, 移転支的コスト計(H), その他, 支出計(I)=(F)+(G)+(H), 国庫支出金, 都支出金, 分担金及び負担金, 使用料及び手数料, 繰入金, その他, 収入計(J), 収支差額(K)=(J)-(I), 一般財源投入割合

2 評価の部(CHECK) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価
公共関与の妥当性
成果の向上余地
廃止・休止の成果への影響
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?
類似事業との統廃合・連携の可能性
活動指標・対象指標・成果指標の推移、公共関与性評価、有効性評価から見たこの事務事業の課題は?

多摩川衛生組合の施設の安定稼働と適正な組合運営のため、組合議会、構成市運営協議会との良好な連携強化を図る必要がある。

事業費の削減余地・歳入の確保
効率性評価
公平性評価
Table with columns: 評価項目, 評価内容, 3 改革・改善方向の部に反映

事務事業コスト、効率性評価、公平性評価から見たこの事務事業の課題は?
清掃工場への可燃ごみの搬入量により負担金額にも反映するため、今後もごみの排出量の減少化を継続的に図る。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(ACTION)
(1)1次評価者としての評価結果
Table with columns: 公共関与と妥当性, 有効性, 効率性, 公平性, 適切, 見直し余地あり

(3)今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可
Table with columns: 削減, 維持, 増加, 向上, 維持, 低下

(5)改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
多摩川衛生組合の施設の安定稼働と適正な組合運営のため、組合議会、構成市運営協議会との良好な連携強化を図っていき、住民へ説明責任を果たせるように、多摩川衛生組合の運営に構成市として積極的に関わる。
(6)上記(3)で現状維持をチェックした場合、この事務事業はどのような状態となれば見直し・廃止となりますか?

事務事業マネジメントシート(兼 事務事業コスト計算書)

事務事業名: 東京たま広域資源循環組合共同運営事業
政策名: 3 まちをつかう
施策名: 施策21 ごみの発生抑制と再資源化の推進
所属部: 生活環境部
所属課: ゴミ減量課
課長名: 村山 幸浩
事業期間: 単年度のみ

事務事業の概要(事業開始の経過、事業の具体的な手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)
東京たま広域資源循環組合は、25市1町の自治体で構成し、焼却後の焼却灰や不燃ごみを日の出町に所在する二ツ塚処分場・谷戸沢処分場への埋め立てに関する管理・運営等を行っている。

1 現状把握の部(PLAN)(DO)
(1) 事務事業の目的と指標
手段(主な活動)
平成25年度の実績(平成25年度に行った主な活動)
23年度「埋め立てゼロ」に到達。
平成26年度の事業計画(平成26年度に計画している主な活動)
前年度と同様
対象(誰、何を対象にしているのか)\*人や自然資源等
国立市(多摩川衛生組合)
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)
最終処分場(二ツ塚処分場・谷戸沢処分場)の延命が図れる。
結果(どんな結果に結び付けるのか)
EPRを柱としてごみの発生が抑制され、また、ごみが適正に処理され、環境負荷の少ない循環型社会が築かれる。

(2)各指標等の推移
Table with columns: 名称, 単位, 平成22年度(決算), 平成23年度(決算), 平成24年度(決算)(A), 平成25年度(決算見込み)(B), 平成26年度(当初予算), 目標年度(目標値), 差額(B)-(A)
Rows include: 活動指標, 対象指標, 成果指標, 上位成果指標

(3)事務事業コストの推移
Table with columns: 単位, 平成22年度(決算), 平成23年度(決算), 平成24年度(決算)(A), 平成25年度(決算見込み)(B), 平成26年度(当初予算), 目標年度(目標値), 差額(B)-(A)
Rows include: 人に係るコスト, 物に係るコスト, 移転支的コスト, その他, 収入内訳

2 評価の部(CHECK)\*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価
公共関与の妥当性
成果の向上余地
廃止・休止の成果への影響
有効性評価
類似事業との統廃合・連携の可能性
活動指標・対象指標・成果指標の推移、公共関与性評価、有効性評価から見たこの事務事業の課題は?
処分場の管理・運営は、市民サービスの面から必要不可欠であり、今後も適正に事業遂行を図る。
事業費の削減余地・歳入の確保
効率性評価
公平性評価
事務事業コスト、効率性評価、公平性評価から見たこの事務事業の課題は?
特になし

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(ACTION)
(1) 1次評価者としての評価結果
Table with columns: 公共関与と妥当性, 有効性, 効率性, 公平性
(2) 全体総括(振り返り、反省点)

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可
Table with columns: 削減, 維持, 増加
Rows: 向上, 維持, 低下

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
(6) 上記(3)で現状維持をチェックした場合、この事務事業はどのような状態となれば見直し・廃止となりますか?
二ツ塚処分場の埋め立てが不可能となり、新たな処分場建設が必要となった場合には見直しを行うこととなる。

事務事業マネジメントシート(兼 事務事業コスト計算書)

事務事業名: 一般廃棄物等処理事務
政策名: 3 まちをつかう
施策名: 施策21 ごみの発生抑制と再資源化の推進
所属部: 生活環境部
所属課: ごみ減量課
課長名: 村山 幸浩
事業期間: 単年度のみ

事務事業の概要(事業開始の経過、事業の具体的な手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)
・国立市における廃棄物等の発生抑制、循環的な利用の促進及び適正な処分の確保に関する条例第60条及び69条、同条例施行規則第38及び第40条、51条に基づき、一般廃棄物を収集運搬及び処分、浄化槽清掃業の許可をするために毎年度3月頃に許可申請審査事務を行っている。

1 現状把握の部(PLAN)(DO)
(1) 事務事業の目的と指標
手段(主な活動)
平成25年度の実績(平成25年度に行った主な活動)
・事業者から許可申請を受け付け手数料1万円を収納する。(新規は随時、更新は3月中に受付ける。)新規は減量施策のない業者は受け付けない。

更更新新は、8社。申請者が許可基準を満たすか審査を行う。
対象(誰、何を対象にしているのか)\*人や自然資源等
一般廃棄物収集運搬及び処分業者、浄化槽清掃業許可 販売対象は、市民、事業者
結果(どんな結果に結び付けるのか)
EPRを柱としてごみの発生が抑制され、また、ごみが適正に処理され、環境負荷の少ない循環型社会が築かれる。

(2)各指標等の推移
Table with columns: 名称, 単位, 平成22年度(決算), 平成23年度(決算), 平成24年度(決算)(A), 平成25年度(決算見込み)(B), 平成26年度(当初予算), 目標年度(目標値), 差額(B)-(A)
Rows include: 活動指標(許可申請業者数), 対象指標(一般廃棄物収集運搬及び処分業者), 成果指標(更新許可数), 上位成果指標(総資源化率)

(3)事務事業コストの推移
Table with columns: 単位, 平成22年度(決算), 平成23年度(決算), 平成24年度(決算)(A), 平成25年度(決算見込み)(B), 平成26年度(当初予算), 目標年度(目標値), 差額(B)-(A)
Rows include: 人に係るコスト(正規職員従事人数, 延べ業務時間, 正規職員人件費計), 物に係るコスト(物件費, 維持補修費), 移転支的なコスト(扶助費, 補助費等), 収入内訳(国庫支出金, 都支出金, 分担金及び負担金)

2 評価の部(CHECK)\*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価
公共関与の妥当性
成果の向上余地
廃止・休止の成果への影響
有効性評価
類似事業との統廃合・連携の可能性
活動指標・対象指標・成果指標の推移、公共関与性評価、有効性評価から見たこの事務事業の課題は?
事務事業コスト、効率性評価、公平性評価から見たこの事務事業の課題は?
Table with checkboxes and text for evaluation criteria.

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(ACTION)
(1) 1次評価者としての評価結果
Table with checkboxes for: 公共関与と妥当性, 有効性, 効率性, 公平性.

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可
Table with checkboxes for: 廃止, 休止, 事業統廃合・連携, 事業のやり方改善(有効性改善), 事業のやり方改善(効率性改善), 事業のやり方改善(公平性改善).
(4) 改革・改善による期待成果
Table with columns: 削減, 維持, 増加. Rows: 向上, 維持, 低下.

(5) 改革,改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
都道府県市町村の取り消し状況など東京都環境局HPで取り消し情報を確認し、許可業者の適切な業者であるかを把握する。
(6) 上記(3)で現状維持をチェックした場合、この事務事業はどのような状態となれば見直し・廃止となりますか?
EPRを柱として、市内から発生するごみの発生抑制が推進されれば、ごみの総量が抑制される。また、ごみが適正に処理され、環境負荷の少ない循環型社会が構築できるような方向性を推進すべきである。

事務事業マネジメントシート(兼 事務事業コスト計算書)

Header information table including project name (環境センター管理運営事業), policy name (3まちをつかう), strategy name (施策21), and budget items.

事務事業の概要(事業開始の経過、事業の具体的な手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)
・一般家庭から収集した不燃ごみやプラスチック類の選別処理とペットボトル等資源ごみの分別作業実施に伴う施設の維持管理事業

1 現状把握の部(PLAN)(DO)
(1) 事務事業の目的と指標
手段(主な活動)
平成25年度の実績(平成25年度に行った主な活動)
・容器包装リサイクル協会へプラスチック製容器包装廃棄物・PETボトルを提供した。
平成26年度の事業計画(平成26年度に計画している主な活動)
昨年と同様に実施する。
対象(誰、何を対象にしているのか)\*人や自然資源等
・搬入されたごみ
・環境センター施設
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)
・適正に処理される。
・不具合なく使用できる。
結果(どんな結果に結び付けるのか)
EPRを柱としてごみの発生が抑制され、また、ごみが適正に処理され、環境負荷の少ない循環型社会が築かれる。

(2)各指標等の推移
Table with columns: 名称, 単位, 平成22年度(決算), 平成23年度(決算), 平成24年度(決算)(A), 平成25年度(決算見込み)(B), 平成26年度(当初予算), 目標年度(目標値), 差額(B)-(A)
Includes activity indicators like staff numbers, working hours, and waste volume.

(3)事務事業コストの推移
Table with columns: 単位, 平成22年度(決算), 平成23年度(決算), 平成24年度(決算)(A), 平成25年度(決算見込み)(B), 平成26年度(当初予算), 目標年度(目標値), 差額(B)-(A)
Categorized into personnel costs (人に係るコスト), object costs (物に係るコスト), transferable costs (移転支的コスト), and other costs (その他).

2 評価の部(CHECK) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価
Public participation, results, impact, and effectiveness evaluation criteria.

活動指標・対象指標・成果指標の推移、公共関与性評価、有効性評価から見たこの事務事業の課題は？

Efficiency evaluation (効率性評価)
Criteria for cost reduction, personnel costs, and waste volume.

Fairness evaluation (公平性評価)
Criteria for cost reduction, fairness, and waste volume.

事務事業コスト、効率性評価、公平性評価から見たこの事務事業の課題は？

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(ACTION)
(1) 1次評価者としての評価結果
Public participation, effectiveness, efficiency, and fairness.

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可
(4) 改革・改善による期待成果
Table showing expected outcomes for cost reduction, maintenance, and increase.

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
(6) 上記(3)で現状維持をチェックした場合、この事務事業はどのような状態となれば見直し・廃止となりますか？

事務事業マネジメントシート(兼 事務事業コスト計算書)

事務事業名: 9 清掃分室管理運営事業
政策名: 3 3まちをつかう
施策名: 21 施策21 ごみの発生抑制と再資源化の推進
所属部: 生活環境部
所属課: ごみ減量課
課長名: 村山幸浩
事業コード: 01402020132500
法令根拠: 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

事務事業の概要(事業開始の経過、事業の具体的な手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)
粗大ごみとして出された家具や自転車等を収集保管・清掃修理し再利用可能な物とし、又せん定枝・草、不法投棄ごみの収集保管し再資源化を行っている。
事業運営に伴い施設及び備品等の管理を実施している。
・車検と日常点検、6ヶ月点検、法定点検(年に1度)を行う。
・車両の整備を行う。
・現在保有している車両、2トントラック(ダンプ・パッカー車)各1台、軽トラック1台(計3台)。
・冷暖房の切り替え(季節に1度)、ボイラーの点検(毎月1度)を行っている。
・警備委託を行っている。

1 現状把握の部(PLAN)(DO)
(1)事務事業の目的と指標
手段(主な活動)
平成25年度の実績(平成25年度に行った主な活動)
施設管理及び保有車両の点検修繕。
平成26年度の事業計画(平成26年度に計画している主な活動)
業務内容は昨年と同様である。
対象(誰、何を対象にしているのか)\*人や自然資源等
清掃分室(施設、保有車両)。
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)
不具合なく使用できる。
結果(どんな結果に結び付けるのか)
EPRを柱としてごみの発生が抑制され、また、ごみが適正に処理され、環境負荷の少ない循環型社会が築かれる。

(2)各指標等の推移
Table with columns: 名称, 単位, 平成22年度(決算), 平成23年度(決算), 平成24年度(決算)(A), 平成25年度(決算見込み)(B), 平成26年度(当初予算), 目標年度(目標値), 差額(B)-(A)
Rows include: 車両点検回数, 冷暖房・ボイラー等点検回数, 清掃分室車両保有台数, 清掃分室敷地面積, 危険だと指摘された危機数, 不具合件数, 1日一人当たりのごみの総排出量, 総資源化量

(3)事務事業コストの推移
Table with columns: 単位, 平成22年度(決算), 平成23年度(決算), 平成24年度(決算)(A), 平成25年度(決算見込み)(B), 平成26年度(当初予算), 目標年度(目標値), 差額(B)-(A)
Rows include: 正規職員従事人数, 延べ業務時間, 正規職員人件費計(C), 再任用職員従事人数, 再任用職員人件費計(D), 嘱託職員従事人数, 嘱託職員人件費計(E), 人に係るコスト計(F), 物件費, うち委託料, 維持補修費, 物に係るコスト計(G), 扶助費, 補助費等, 繰出金, 移転支的コスト計(H), その他, 支出計(I)=(F)+(G)+(H), 国庫支出金, 都支出金, 分担金及び負担金, 使用料及び手数料, 繰入金, その他, 収入計(J), 収支差額(K)=(J)-(I), 一般財源投入割合

2 評価の部(CHECK) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価
公共関与の妥当性: 見直し余地がある [以下に理由を記入] 3 改革・改善方向の部に反映
成果の向上余地: 向上余地がある [以下に理由を記入] 3 改革・改善方向の部に反映
廃止・休止の成果への影響: 影響無 [以下に理由を記入] 3 改革・改善方向の部に反映
有効性評価: 類似事業との統廃合・連携の可能性 [以下に理由を記入] 3 改革・改善方向の部に反映

活動指標・対象指標・成果指標の推移、公共関与性評価、有効性評価から見たこの事務事業の課題は?
必要不可欠な事業(施設)である。

効率性評価: 事業費の削減余地・歳入の確保 3 改革・改善方向の部に反映
公平性評価: 受益機会・費用負担の適正化余地 3 改革・改善方向の部に反映

事務事業コスト、効率性評価、公平性評価から見たこの事務事業の課題は?
現状の機器・車両等をできる限り長く使う。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(ACTION)
(1)1次評価者としての評価結果
(2)全体総括(振り返り、反省点)
公共関与と妥当性 [適切]
有効性 [適切]
効率性 [適切]
公平性 [適切]

(3)今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可
(4)改革・改善による期待成果
Table with columns: 削減, 維持, 増加
Rows: 向上, 維持, 低下

(5)改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
(6)上記(3)で現状維持をチェックした場合、この事務事業はどのような状態となれば見直し・廃止となりますか?
施設の老朽化により、建て替えが必要になった場合。



事務事業マネジメントシート(兼 事務事業コスト計算書)

事務事業名: 12 エコスポット助成事業
政策名: 3 3まちをつかう
施策名: 21 施策21 ごみの発生抑制と再資源化の推進
所属部: 生活環境部
所属課: 産業振興課
課長名: 青木 稔
法令根拠: エコスポット事業補助金交付要綱

事務事業の概要(事業開始の経過、事業の具体的な手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)
「エコスポット」事業を展開し、これに伴うエコカード等を使用した商店街活性化事業を推進する団体に対し、その安定運営を図るため、その維持費に係る経費の一部を補助、年度末に、実績報告、収支決算書を添付し交付申請。審査後、交付決定、補助金支出。

1 現状把握の部(PLAN)(DO)
(1) 事務事業の目的と指標
手段(主な活動)
平成25年度の実績(平成25年度に行った主な活動)
件数 1件
金額 50,000円

平成26年度の事業計画(平成26年度に計画している主な活動)
補助予定団体が、エコスポット事業を廃止したため、平成26年度から補助金の交付もなくなる。
対象(誰、何を対象にしているのか)\*人や自然資源等
消費者・商店会
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)
商店街への集客
ごみの減量意識の向上
エコポイントを活用した商店会振興策の実施

結果(どんな結果に結び付けるのか)
市民・事業者が、環境負荷の少ない循環型社会を実現する。
市民・事業者が、ごみの発生を抑制する。
(2)各指標等の推移
表: 名称, 単位, 平成22年度(決算), 平成23年度(決算), 平成24年度(決算)(A), 平成25年度(決算見込み)(B), 平成26年度(当初予算), 目標年度(目標値), 差額(B)-(A)

(3)事務事業コストの推移
表: 支出内訳, 収入内訳
支出内訳: 人に係るコスト, 物に係るコスト, 移転支的コスト, その他
収入内訳: 国庫支出金, 都支出金, 分担金及び負担金, 使用料及び手数料, 繰入金, その他

事務事業コスト、効率性評価、公平性評価から見たこの事務事業の課題は?
事業が廃止されたので補助金の支出はなくなるが、市の缶・ペットボトルの収集量は増える。

2 評価の部(CHECK)\*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価
公共関与の妥当性
成果の向上余地
廃止・休止の成果への影響
有効性評価
類似事業との統廃合・連携の可能性
活動指標・対象指標・成果指標の推移、公共関与性評価、有効性評価から見たこの事務事業の課題は?
事業を実施していた団体が、貯まったエコポイントの換金費用を負担しており、事業費は支出のみとなっていた。缶・ペットボトルを売却したり、この事業による収入があれば事業の継続ができた可能性がある。

事務事業コスト、効率性評価、公平性評価から見たこの事務事業の課題は?
(2)全体総括(振り返り、反省点)
収入のない事業について、継続を考えるとときにどのような形で費用を捻出するか検討する必要がある。
(3)今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可
(4)改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(ACTION)
(1)1次評価者としての評価結果
(2)全体総括(振り返り、反省点)
(3)今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可
(4)改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)
(5)改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
(6)上記(3)で現状維持をチェックした場合、この事務事業はどのような状態となれば見直し・廃止となりますか?